

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】(ユニット1)

事業所番号	0170401780		
法人名	株式会社Human-system Japan		
事業所名	グループホーム自由の大地		
所在地	札幌市手稲区稲穂3条2丁目11番7号		
自己評価作成日	令和5年9月11日	評価結果市町村受理日	令和5年11月27日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kihon=true&JigyosyoCd=0170401780-00&ServiceCd=320

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	企業組合グループ・ダイナミックス総合研究所 介保調査部		
所在地	札幌市手稲区手稲本町二条三丁目4番7号ハタナカビル1階		
訪問調査日	令和5年10月11日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家族様と同居されていた方、独居で一人不安な生活をされていた方など色々な環境で長年生活をされてこられた方が、安心できる雰囲気を作っています。
明るく、暖かいおもてなしができるように心掛けています。
高台に面した素晴らしい景色と、おいしい食事、清潔な館内で入居者様の笑顔と笑い声が絶えない日常があふれています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は札幌市手稲区に位置し、JR手稲駅南口から徒歩圏内の高台にあり、閑静な住宅地に2階建て2ユニットのグループホームである。事業所の敷地は約500坪あり、雑草の手入れや冬季間の除雪は職員の大仕事だが、利用者の外気浴や散歩、楽しいバーベキューなどの行事やバラのアーチがある花壇、菜園、駐車場として活用している。また、高台の立地の為、リビングの大きな窓からは札幌市内手稲区や銭函、石狩湾などが望め、季節を感じて眺めたい眺望である。法人は、高齢者向け住宅が3カ所と居宅介護支援事業所や児童福祉サービスを運営しており、培った経験を活かしている。ホーム内は全体的にゆったりしており、整理整頓され、家族用の個室もあり、普段は町内会の会議室として開放している。職員の定着率も高く、和気あいあいとした家庭的な雰囲気のホームで、これからも認知症高齢者の事業所として期待したい。

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

項目	取組の成果		項目	取組の成果	
	○	↓該当するものに○印		○	↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)	○	1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんどつかんでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19)	○	1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)	○	1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2、20)	○	1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11、12)	○	1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30、31)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	年2回の全体会議で理念について振り返り職員としての心構えと一緒に勉強会をしています。廊下・事務所に掲示し利用者様にも見ることができます。	事業所の理念は、事業所内に掲示し、利用者や家族にも周知するよう努めている。職員は、年2回行う全体会議で理念について振り返り、職員間で共有し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	現在は、コロナ禍のため、施設同士の交流は延期となっています。限られた安心性重視の範囲で理美容、訪問内科、歯科とのつながりは続けています。	コロナ禍であったため、町内会など地域との交流は制限をしていたが、これから施設同士の交流や地域との関わりを再開していく予定である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	5月より、運営推進会議が再開し、町内会、地域包括の方々が参加されています。ホーム内の食事内容や、行事について理解して頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	5月よりホームでの会議を行い、アクシデント報告、活動報告を行っています。町内会、民生委員、地域包括センター参加あり。	コロナ感染症対策で、書面会議であったが、5月から通常開催で行っている。町内会役員や民生委員、地域包括センター担当者等が参加して、情報交換や意見交換を行い、サービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	主に、札幌市、手稲区、保健福祉課担当者様には、常日頃から、相談事や行政の改正時の対応等質問したりアドバイスを頂いております。	コロナ禍で休止していたが、手稲区主催のふれあいフェスティバル施設見学会に参画したり、札幌市や手稲区、地域包括支援センターと連携して活動するなど再開をする予定である。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止を目標に日々努めています。定期的に委員会で会議を行います。玄関は防犯目的のみとし、夜間～早朝のみ施錠しています。	身体拘束廃止委員会を設置し、3ヶ月に1回検討会を行っていたが、現在は検討会を改め、全体での身体拘束についての勉強会として開催して、指針やマニュアルを整備し、学びながら身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	9月より研修が再開される予定です。当ホームでも参加予定です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員は、新人研修の際、管理者より説明を受けています。制度に関しては、実務者研修へ会社から支援があり、全員参加しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者とキーパーソンが契約時、十分に時間をとり、お話しています。退去時も同様説明し納得して頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ほとんどが、直接ご意見、ご要望を提案し合える関係性を保っています。契約時に、契約書に記載されている札幌市の相談窓口へ伝えづらい事は連絡してもらうように説明しています。	運営状況を記載したホーム便りと利用者毎の近況報告を記載した個人の便りを2ヶ月に1回家族に送付して報告している。玄関に意見箱を設置し、家族からの意見を聞く機会をとしているが、殆どは来訪時や電話等で聞き取り運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の勤務の中で、自由に意見や要望を提案し合える関係性を保っています。代表の理解も柔軟ですので、反映されています。	カンファレンスを兼ねたユニット会議は毎月行っており、全体会議は年度初めに年1回開催している。個人面談は、年1回以上随時行っており、職員からの意見や提案を聞き運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	100%資格取得のサポートへ支援されています。介護福祉士有資格者へは手当がつき、毎年処遇改善手当の拡充により昇給を行っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全体会議にて 認知症勉強会を行っています。現在は、実務者研修の参加のみですが、オンライン授業を受けています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	コロナ禍になり、直接の交流は延期していますが、リモート会議やFAXのやり取りで、情報交換しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所にあたり、前もってキーパーソンより情報収集し、本人の生い立ちや、性格などスタッフは把握し、時間をかけ傾聴したりお話し相手になっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談の時、日ごろの介護に対する悩みや本人がどうしたいのか等聞き取りをしっかりと伝えています。入居前の段階で、何度もご相談を受け納得された上での入居となっています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初回のアセスメント時は、情報収集がしっかり行えて、どういったサービスが必要なのかご家族様と本人の希望を伺っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	尊厳のある姿勢を忘れずに、あたたかく、包み込む口調やいつも見守っていますよ、という安心感で接しています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の制限は以前より緩和されましたが、事前に電話をして頂き、本人の体調が優れなければ、電話での対応を行っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ感染対策緩和となり、5月より、面会を再開しています。 マスク着用にて30分程度で、協力して頂いています。	コロナ感染症対策で、面会の制限をしていたが、5月から再開しており、家族と一緒に買い物やドライブなどの外出の支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常の家事のお手伝いでの交流やレク活動の参加など無理のない範囲で関わりを持っています。		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	運営推進会議参加の継続をお願いしたり、お知り合いの方などの入居相談も受けています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中から本人の胸の内を言葉にして頂き、希望に添った生活を送って頂いています。話しやすいアットホームな雰囲気づくりを心がけています。	利用者の平均介護度が1.7で、意思表示が皆できる為、思いや意向の把握をしながらケアに努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報提供に基づきアセスメントも活用しながら、柔軟なサービスに努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	基本、決め事は作らず、暮らしそのものが本人に自由で安心であることが一番に考え過ぎて頂いています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人と家族の希望を重視した、あたたかく見守り、支援していくことが計画内容に反映できるケアプランを作成しています。	居室毎に担当者を設置している。計画作成担当者が本人や家族の意見や要望を聞き、主治医等の情報も収集してモニタリングし、ユニット全員でカンファレンスをして、現状に即した介護計画を作成している。見直しは6ヶ月毎に行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	本人が話した内容を記入したり、日々の変化を毎日の申し送りの中でスタッフは共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ケアプラン以外の部分でのニーズにも状況に応じて柔軟に対応しています。頻度に応じてはケアプランの変更も行います。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在は制限があり、限られた中で安全を重視した、行事をホームで企画しているのみです。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の定期往診や、必要な検査の対応や24時間連絡可能な連携を行っています。	かかりつけ医は利用者の殆どが協力医療機関で、月2回の訪問診療となっており、訪問看護は週1回の24時間体制の適切な医療を受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護が週一回あります。都度相談できています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	フェイスシート、各ケアシート等、入院時に診療以外での情報を渡しています。電話で連絡を取り合い、完治に向けての計画や準備に対して協力を高めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	主治医から家族への今後のありかについての話し合いに同席したうえで方向性を納得が行くまで話し合っています。医療機関や施設とつながりを持っています。	入居契約時に看取りをしないことを含めた対応を説明している。重度化した場合には、主治医や看護師と連携して可能な限り対応できるようにチームで支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年一回、応急手当や救命についての講習会を設けています。外部講習のみ現在制限しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、半年ごとの避難訓練を日中、夜間想定して行っています。	避難訓練は年2回行っており、今年は10月と12月の予定である。備蓄や備品を整備して、避難先は法人内のサ高住となっている。職員が町内近辺に居住の為、緊急時には対応可能である。	BCPが作成中の為、令和6年4月までに実証訓練も行い完成することを期待する。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常的に新人に対しては、キャリア組が指導しています。会議では、いつも話題にしています。なじみの関係の中での尊厳を忘れぬように努めています。	人格の尊重とプライバシーについては、「スタッフの心構え10カ条」があり、職員に徹底して指導している。新人職員には、新人研修で指導しており、職員には、10カ条の他に身体拘束をしないケア研修会などで説明し指導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人の個性を大切に、胸の内を遠慮せずに話せる雰囲気づくりに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	新人研修には、必ず教育しています。日常のケアの中で指導をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理美容の訪問を活用しています。ご家族様には、面会の際、必要なものを持参して頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の可能な限りでのお手伝いをして頂いて家事や畑仕事など快く応じられています。	料理は担当職員がおり、利用者の嗜好に合わせて工夫している。利用者は後片付けや洗い物、テーブル拭きなど手伝っている。行事食は、寿司の出前やオードブルなど嗜好に合わせて対応している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	誤嚥の多い方へ、トロミ対応したり義歯対応の方へは刻み食にしたりと、支援しています。水分摂取は充分に行えています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科衛生士の協力もあり、口腔トレーニングをしています。見守りにて、声掛け指導し、できなければ介助しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間ごとの声掛けやトイレ誘導にて失敗を防いでいます。	自立している利用者が半分程度だが、利用者毎の排泄記録簿を職員間で共有し、時間を見ながら声掛け誘導して、トイレでの排泄の自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の方への支援は、主治医と連携し、処方薬の活用や食事の際、ヨーグルトの利用や、朝のおかゆを利用しています。		
45	17	○入浴を楽しむことのできる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている	毎日でも入りたいという方にも柔軟に対応できています。気分のすぐれない日は無理をさせずに時間を遅らせたりしています。	浴室はユニット型で、1階はグリーン色、2階はクリーム色の浴室となっている。入浴は、週3回以上だが、週2回の希望者が多くなってきた。利用者個々の希望に沿った支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の離床時間を優先し、興味のあるレク活用や、お手伝いなどで活動量を増やしています。照明や室温に気を付けています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	日々、服薬の管理をスタッフが行っています。処方になっているものはファイルしてあり職員に内容を理解させています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	献立メニューは毎日の観察の中で利用者の嗜好をスタッフが共有し、誕生日など、本人より希望を聞き提供しています。ゲーム、麻雀などいつでもできるように準備し参加してもらっています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在は制限があり外出は少なくなっていますが、ドライブやお散歩など行える季節は積極的にホームで外出しています。	コロナ感染症対策で、外出の制限をしていたが、敷地内や庭の散歩や外気浴を日常的に支援している。今後は紅葉見学や五天山公園、稲積公園など積極的に外出行事を再開する予定である。	今後は、家族も一緒に参加できる現地集合現地解散などの外出行事の企画を期待したい。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本金銭管理は家族が行っていますが、どうしても現金を持っていたいという方には、紛失してもよいという許可のもと、所持して頂いています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも対応しています。家族様にもつながる時間帯を伺っており協力して頂いています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは照明に気を付けスタッフが調整し、不穏を防いでいます。掲示物は季節ごとに対応スタッフと利用者らで四季折々の装飾をしています。	共用空間は、採光や風通しもよく、リビングや廊下も広く、全体的にゆったりとした造りで、清掃も行き届き清潔感がある。家族の宿泊用の部屋もあり、普段は会議室として町内会婦人部に開放している。また、敷地が広い為、前庭には花壇があり、バラのアーチなど季節が感じられる。利用者は、日中殆ど眺望の良いリビングで寛いで過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者さんが楽しく会話できるように配置に気を配っています。各々がくつろげるように工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	日ごろから愛着のあるものを持ち込んでいただいています。火を使う物や食材以外で本人が管理できる間は好きなように持参しています。	居室には大きな収納があり、配慮している。利用者は、使い慣れた家具や馴染みの物を持参して、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	使用目的に応じ、わかりやすい間取りにしています。車いすでも移動できる広い空間を用意しています。トイレもわかりやすく表示しています。		